

自立性、官民協働、地域間連携、政策間連携、デジタル社会の形成への寄与等の要素を有する取組等

◆令和6年度 交付金対象事業（健幸都市づくり関連事業）

	健幸都市づくり関連イベント事業	健幸都市くさつ啓発・情報発信業務 （広報・啓発）	健幸都市づくりに係る共同研究事業 （共同研究）
事業概要	健幸づくりに関連する啓発・体験型イベントの開催を通じて、市民の健康増進や健幸づくりのきっかけづくりを行うとともに、自身や家族の健幸を考える機会として、参加者の主観的健幸感の向上につなげる。	市が目指す「健幸」の内容や、市が取り組む「健幸都市づくり」に対する認知度を向上させるとともに、「健幸に暮らしている」と感じている市民を一人でも多く増やすため、様々な媒体や手法を活用し「健幸都市くさつ」に関する啓発・情報発信を行う。	大学と連携して「FOV(Full of vitality)評価法」を研究開発し、心身の健康状態の見える化を図るとともに、それと連動した運動プログラムや健康増進事業を企画展開することで、人々の行動変容を促し、個々の状態にあった最適なヘルスケアソリューションの実現を目指す。
R6事業費の内訳 ※事業費×1/2 の国費充当	【変更前】計 2,963千円 ○健幸フェア事業委託 1,280千円 ○くさつ健幸ウォークラリー事業委託 1,683千円	【変更前】計 3,245千円 ○啓発物品制作 180千円 ○横断幕保守管理 198千円 ○啓発動画制作 557千円 ○動画放映料 2,310千円	【変更前】計 5,665千円 OR-GIRO共同研究事業 5,665千円
	【変更後】計 2,963千円 変更なし	【変更後】計 3,957千円 ○啓発物品制作 205千円 ○OSNを活用した情報発信業務 648千円 ○横断幕保守管理 182千円 ○啓発動画制作 557千円 ○動画放映料 2,365千円	【変更後】計 9,867千円 OR-GIRO共同研究事業 9,867千円

取組追加
+712千円

人件費・物価高騰
+4,202千円



健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりに取り組みます。

①健幸フェア開催費、「健幸都市くさつ」広報・啓発費

健幸づくりの重要性を発信し、より多くの市民に「健幸」を意識してもらうため、草津川跡地公園における健幸イベント「健幸フェア」を開催するほか、「健幸都市くさつ」のPR動画を制作し、映画館で放映するなどにより、様々な方法で情報発信の強化に取り組みます。

【主な内容】

- ・健幸フェアの開催
- ・「健幸都市くさつ」PR動画作成、放映 ほか
- ・デザインマンホールの設置（4か所）

【予算額】 10,622千円



健幸フェア（令和4年度）



健幸都市くさつPR動画上映（イメージ）

②健幸都市づくり推進費（共同研究）

健幸への意識や関心が低い方々（健幸無関心層）への効果的なアプローチの方策を検討するため、立命館大学等の協力の下で「働き世代の健幸」に関する共同研究を行うとともに、市民に「歩いてもらうための仕掛けづくり」を検討するためのウォーキングモデル事業を実施します。

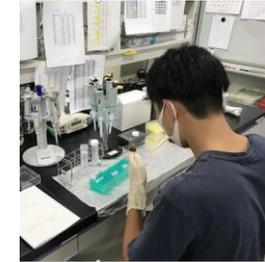
【主な内容】

- ・「働き世代の健幸」に関する共同研究
- ・ウォーキングモデル事業の実施

【予算額】 9,878千円



ウォーキングモデル事業
（イメージ）



共同研究事業における
生化学検査の様子（イメージ）

③地域公共交通活性化推進費

市内の地域公共交通を全面的に再点検し、既存の地域公共交通網形成計画を改編して草津市地域公共交通計画を策定します。これにより地域の特性に考慮した地域公共交通の再編を実施し、将来の人口減少局面においても持続可能な都市構造の実現を目指します。

【主な内容】

- ・草津市地域公共交通計画の策定

【予算額】 11,693千円



草津市地域公共交通計画